

(25) 2008年(平成20年)9月4日(木曜日)

映画「空想の森」が高評価

市在住の 田代さん 初監督、新得で撮影

帯広市在住の田代陽子さん(41)の初監督作品で、新得町で撮影されたドキュメンタリー映画「空想の森」が、「あいち国際女性映画祭」(3-7日、会場・名古屋市など)に招待された。また、東京都内の映画館でのロングラン上映が決まるなど、公開以来、各方面で評価が高まっている。

映画「空想の森」の監督を手がけた田代さん



今年で13回目を迎える同映画祭は、財団法人あいち男女共同参画財団と同運営委員会の主催、小牧市など開催5都市の共催。愛知初の国際映画祭として、世界で活躍する女性映画監督らを招き、女性の生き方や社会参加などをテーマにした作品を上映している。

今年15本の上映が予定され、「空想の森」は6日、名古屋市のウイールあいちで公開される。田代監督も会場を訪れる。

東京都内でロングラン上映



映画「空想の森」のワンシーン

また、7月から東京の「ポレポレ東中野」で4週間上映された後、観客からのリクエストを受けて、今月1-25日までロングラン上映されることになった。さらに、10月には福井県で地元グループによる自主上演会も企画されている。

田代監督は「新聞や雑誌での取材も相次ぎ、反応の大きさに驚いている。東京での上映で、観客から『自分分がその画面にいるような感覚になった』という言葉をもらい、うれしかった」と話す。愛知県で初公開されることについても「たくさんの人にこの映画を見てもらい、多くの出会いをこれからの映画づくりに生かしていきたい」と期待している。

十勝管内では、「第13回空想の森映画祭」(13-15日、新得町新内ホール)で14日に上映される。地元での自主上映会にも応じている。問い合わせは、「空想の森」上映委員会(090・9084・2058)(酒井花)へ。